

# 高等学校社会系教科における 導入学習に関する授業開発の研究 (Ⅳ)

— 「日本史B」導入単元の場合 —

山名 敏弘 小原 友行 池野 範男 草原 和博  
棚橋 健治 鶴木 毅 大江 和彦 土肥大次郎  
下前 弘司 蓮尾 陽平 見島 泰司 森 才三

## 1. はじめに

まず、昨年度までに整理されている「導入」の3つのレベルについて確認しておく<sup>1)</sup>。これは以下の通りである。

- ①「一時間の授業」の最初の段階
- ②「単元」の最初の段階
- ③「教科・科目」の最初の段階

本研究は昨年に引き続き、このような「導入」段階の授業のうち、②および③の授業プランを高等学校社会系教科において開発し、「導入学習」のさまざまな授業のあり方を提起しようとするものである。

第1年次は、地理歴史科『地理B』において、②の「導入学習」の授業を開発した<sup>2)</sup>。続いて第2年次は、地理歴史科『世界史A』において、③の「導入学習」すなわち「授業開き」の授業を開発した<sup>3)</sup>。第3年次の昨年度は、公民科『現代社会』において、③の「導入学習」すなわち「授業開き」の授業を開発した。小単元「高等学校『現代社会』への扉～コンビニエンスストアから始める社会科学」における「現在、コンビニエンスストアはどうなっており、なぜここまで受容されているのか。」および「コンビニエンスの追及は幸福をもたらすのか～消費生活のありかたを考える～」の授業がそれである<sup>4)</sup>。そこでは、中学校公民的分野と高等学校『現代社会』との違いをふまえつつ、コンビニエンスストアを事例として消費生活のあり方を考えさせることにより経済活動の意義や市場経済の見方・考え方を理解させるとともに、その後展開される「現代社会の諸問題」に関する学習にも援用しようとするものである。

これらに続いて、第4年次にあたる本年度は、地理

歴史科『日本史B』において、③の「導入学習」すなわち「授業開き」の授業開発を試みたい。

## 2. 日本史B「導入単元」の授業開発の視点

筆者の勤務校では、日本史Aを高校2年次に、日本史Bを高校3年次で実施している。そこで、中学校歴史的分野と日本史Aおよび日本史Bの橋渡しを行うための導入単元およびその授業開発を日本史Aおよび日本史Bに共通して含まれる単元において試みる。

はじめに、中学校歴史的分野と高等学校地理歴史科日本史Bの違いをふまえ、日本史Bという科目の特性を明らかにしておきたい<sup>5)</sup>。

全体像を国際関係及び時代区分という2つの側面からとらえていきたい。まず、国際関係についてである。内容の柱立てとしては、中学校歴史的分野では、(1)歴史のとらえ方(2)古代までの日本(3)中世の日本(4)近世の日本(5)近代の日本と世界(6)現代の日本と世界となっており、日本史Bでは、(1)原始・古代の日本と東アジア(2)中世の日本と東アジア(3)近世の日本と世界(4)近代日本の形成と世界(5)両大戦期の日本と世界(6)現代の日本と世界となっており、中学校歴史的分野では、「世界」という表現が近代以降にみられるのに対し、日本史Bでは、すべての時代区分において「世界」あるいは「東アジア」という表現が見られる。また、日本史Bでは、(1)～(6)のそれぞれの柱立ての冒頭に「社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。」と明記されており、さらに内容の取り扱いの中でも「我が国の歴史と文化について各時代の国際環境や地理的条件などと関連付け、世界の中の日本という

---

Toshihiro Yamana, Tomoyuki Kobara, Norio Ikeno, Kazuhiro Kusahara, Kenji Tanahashi, Tsuyoshi Unoki, Kazuhiko Ooe, Koji Shimomae, Daijiro Dohi, Youhei Hasuo, Taiji Mirushima, Saizou Mori: A study on introductory lesson plan of social studies of high school (Ⅳ) —Japanese History B—

視点から考察させること。」あるいは「外来の文化などとの接触や交流による文化の変容や発展の過程などに着目させ、」とある。これらのことから、日本史Bにおいてより世界との関係性が重視されていると考えられる。

次に、時代区分についてである。中学校歴史的分野では、内容として、(1) 歴史のとらえ方の中で、「我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりするなどの活動を通して、時代の区分やその移り変わりに気付かせ、歴史を学ぶ意欲を高めるとともに、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる。」および、「学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、各時代の特色をとらえさせる。」とある。また、内容の取り扱いとしては、前者については「中学校の歴史学習の導入として実施することを原則とすること。小学校での学習を踏まえ、扱う内容や活動の仕方を工夫して、「時代の区分やその移り変わり」に気付かせるようにすること。」後者については「各時代のまとめとして実施することを原則とすること。その際、各時代の学習の初めにその特色の究明に向けた課題意識を育成した上で、他の時代との共通点や相違点に着目しながら、大観や表現の仕方を工夫して、各時代の特色をとらえさせるようにすること。」とある。一方、日本史Bでは、内容の取り扱いにおいて、「各時代の特色を総合的に考察する学習及び前後の時代を比較してその移り変わりを考察する学習それぞれの充実を図ること。」が要請されており、学習の深化が求められている。

さらに、2時間目で扱う開国及びそれに関連する内容について見ていきたい。中学校歴史的分野では、内容の「近世の日本」において、「社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。」とあり、「近代の日本と世界」において、「欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。」および「開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。」とある。また、内容の取り扱いとしては、「開国とその影響」については、「アの欧米諸国のアジア進出と関連付けて取り扱うようにすること。」とある。一方、日本史Bにおいては、内容の「近世の日本と世界」において、「幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、

学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。」とあり、「近代日本の形成と世界」においては、「開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。」とある。また、内容の取り扱いとしては、「様々な資料の特性に着目させ複数の資料の活用を図って、資料に対する批判的な見方を養うとともに、因果関係を考察させたり解釈の多様性に気付かせたりすること。」とある。これらのことから、日本史Bでは、資料の活用や因果関係の考察、多角的な考察をもとにした解釈に重点が置かれている。また、2時間目で扱う主題は、日本史Bの「近世の日本と世界」の最後の内容と「近代日本の形成と世界」の最初の内容を包摂するものであり、近世から近代へという時代の変遷にともなう変化やその特質、それらが及ぼす影響についても明らかにしていきたい。

### 3. 日本史B「導入単元」の内容構成の視点

筆者の勤務校で日本史を初めて学ぶ生徒は、中学校歴史的分野で一通り歴史の通史学習を行ってきており、また高校1年次で既に世界史Aを学んでいる。これらのことをふまえ、日本史における時代区分と日本と世界の関わりを軸として通史の概観的な学習を行った上で、具体的な主題を通して日本史における時代や時代区分の変遷やその原因、影響を理解させたい。1時間目では、既に生徒が学習している時代や時代区分を想起させつつ、その時代の政治の特色や中心地、その頃の世界との関わりを関連づけていきたい。2時間目では、開国という生徒にとっても関心の高い主題であり、また近代の幕開けとなったでき事を通して、世界の変化と日本への影響、時代の変化およびその特徴などについてそれらに関連する資料にも着目させながら考察させたい。折りしも昨年は横浜開港150年という節目の年にあたり、さまざまなイベントが行われるなど開港や開国は多くの人々の関心を集めた事象でもある。朝廷や大名を統制した江戸幕府が朝廷に条約締結の許可を求めたり、大名に条約締結の可否に関して意見を求めたりしたことなど中学の学習を発展させる内容も盛り込んでいく。これらの学習を行うことによって、歴史の枠組みや日本と世界との関わりを再確認するとともに、客観的な複数の資料をもとに歴史について主体的に考察することの大切さを認識し、さらに以後の学習を発展させるステップとなるであろう。

#### 4. 日本史B「導入単元」の授業試案

日本史Bの「導入単元」として開発した小単元「高等学校『日本史B』への扉①」は、「日本史における時代区分」を主題とする1時間目と「開国」を主題と

する2時間目とから構成されている。以下に1時間目の授業試案の略案を示すとともに、2時間目の授業試案を、教授書の形式で提示する。

#### 導入単元「高等学校『日本史B』への扉」の授業試案

##### 1. 小単元 高等学校『日本史B』への扉

2. 小単元の目標 日本史学習への意欲を高め、歴史を多角的にとらえることの重要性を理解させる。

##### 3. 単元計画 (全2時間)

1時間目：日本史への扉①～日本史における時代区分～

2時間目：日本史への扉②～開国～

##### 4. 小単元の学習内容

(1) 原始・古代－中世－近世－近代－現代という歴史の枠組みを確認するとともに、各時代区分の特徴を確認する。

① 貴族中心の政治体制から武家政権、そして明治新政府をはじめとする近代国家へ発展していくことを理解させる。

② 日本は東アジアから政治や文化に関わるさまざまな影響を受けてきたことと、開国以後欧米諸国との関係が深まることを理解させる。

(2) 近世から近代への転換点となった開国を通して、いわゆる「鎖国」から外交関係が大きく変化し、政治や経済、文化に大きな影響を及ぼしたことを理解させる。

① 「鎖国」が、開国によって終結し、新たにアメリカ・イギリスなどの欧米諸国との経済・貿易における関係が深まっていくこと理解させる。

② 開国によって、国内政治や対外政策に大きな変化が生じたことを理解させる。

③ 開国によって、新たに欧米の文化が流入することを理解させる。

##### 5. 小単元の評価規準

	1時間目	2時間目
関心・意欲・態度	日本史の枠組みを理解し、日本史への興味・関心が高まった。	開国を通して、政治・経済・文化における変化について、高い関心をもつ。
思考・判断	日本史の各時代区分の特徴および日本と外国の関係について、考えることができる。	開国を通して、政治・経済・文化がどのように変わったのかについて、考えることができる。
技能・表現	日本史の各時代区分の特徴および日本と外国の関係について、説明することができる。	開国を通して、政治・経済・文化がどのように変わったのかについて、説明することができる。
知識・理解	日本史の各時代区分の特徴および日本と外国の関係について、理解している。	開国を通して、政治・経済・文化における変化について、理解している。

##### 6. 授業展開過程

###### 1時間目：

	教師の発問	教授・学習過程	資料	生徒から引き出したい知識
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校で学んだ歴史はどのような内容だっただろうか？</li> <li>・ 日本の歴史の時代にはどのようなものがあるか？</li> <li>・ 日本の歴史のより大きな時代区分は、どのようになっているか？</li> </ul>	T：発問する P：答える T：発問する P：答える T：発問する P：答える		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主に日本の歴史。</li> <li>・ 奈良・平安・鎌倉など。</li> <li>・ 原始・古代、中世、近世、近代、現代。</li> </ul>

展 開 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>各時代区分は、どのような特徴をもっていたか？</li> <li>原始・古代はどのような特徴をもっていたか？</li> <li>中世はどのような特徴をもっていたか？</li> <li>近世はどのような特徴をもっていたか？</li> <li>近代はどのような特徴をもっていたか？</li> </ul>	<p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家が成立し、律令をもとにし、天皇を中心とした政治が行われた。摂関政治などの政治形態も見られた。</li> <li>武家政権である鎌倉幕府・室町幕府による政治が行われた。</li> <li>天下統一に近づく大名が現れ、やがて江戸幕府が成立し、長期的に政権を維持した。</li> <li>日本が開国し、やがて明治維新が起こり、富国強兵・殖産興業などの近代化をめざした政策が行われた。日清戦争から第二次世界大戦まで多くの戦争が起こった。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代はどのような特徴をもっていたか？</li> </ul>	<p>T：発問する P：答える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二次世界大戦が終わり、戦後改革・戦後復興を経て産業・経済が発展していった。</li> </ul>
展 開 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本は、外国との交流の中で、どのような影響を受けてきたのか？</li> <li>原始・古代にはどのような関係があったか？</li> <li>中世にはどのような関係があったか？</li> <li>近世にはどのような関係があったか？</li> <li>近代にはどのような関係があったか？</li> <li>現代にはどのような関係があったか？</li> <li>より多くの国々との関係ができたのはいつの頃か？</li> <li>そのきっかけは何か。</li> </ul>	<p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国・朝鮮半島からさまざまな文物がもたらされた。</li> <li>遣隋使・遣唐使が派遣された。</li> <li>宋との交流、元寇、倭寇、日明貿易、南蛮貿易。</li> <li>朱印船貿易、鎖国、オランダ・中国・朝鮮との交流。</li> <li>欧米諸国との貿易開始、日清戦争・日露戦争・第一次世界大戦・第二次世界大戦。</li> <li>サンフランシスコ平和条約、国際連盟への加盟などにより日本が国際社会に復帰した。</li> <li>近代。</li> <li>開国。欧米諸国と条約を締結したこと。</li> <li>中国・朝鮮など東アジアの国々。</li> <li>アメリカ・イギリス・ロシアなど欧米の国々。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>開国以前に日本と交流が深かったのはどこの国か？</li> <li>開国以後、日本と交流が深まったのはどこの国か？</li> </ul>	<p>T：発問する P：答える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治・経済・文化に大きな変化がもたらされた。これ以後の授業でどのような変化がみられたのか、みていこう。</li> </ul>
終結	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本は、外国との交流の中で、どのような影響を受けてきたのか？</li> </ul>	<p>T：発問する P：答える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治・経済・文化に大きな変化がもたらされた。これ以後の授業でどのような変化がみられたのか、みていこう。</li> </ul>

## 2時間目：

	教師の発問	教授・学習過程	資料	生徒から引き出したい知識
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史で学ぶことにはどのような内容があるだろうか？</li> <li>なぜさまざまな部門について学ぶのだろうか？</li> <li>さまざまな部門が関係し、大きな変化がもたらされた内容として、開国についてみていこう。</li> <li>開国によって、どのように政治や経済・文化が変わったのか？</li> </ul>	<p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：説明する</p> <p>T：発問する</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>政治、経済、文化など。</li> <li>原因となったり影響し合ったりして、互いに関係が深いから。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>いわゆる「鎖国」のもとでの日本の対外関係は、どのようなものであったのか？</li> <li>日本に來航して貿易を行うことができた国はどこか。</li> <li>なぜこのような施策が行われたのか？</li> <li>長崎での貿易はどのようなものであったか？</li> <li>長崎での貿易は、日本の経済にどのような影響を与えたのか？</li> <li>開国とは、どのようなことか？</li> <li>開国によって、対外関係は、どのように変化したのか？</li> </ul>	<p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p>	<p>①</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長崎でオランダ・中国と貿易を行った。対馬の宗氏を通じて朝鮮において貿易を行った。薩摩藩を通じて琉球王国と交易を行った。松前藩を通じてアイヌと交易を行った。以上の4方面の海外への窓口があった。</li> <li>オランダと中国のみ。</li> <li>幕府が貿易を統制し、キリスト教の禁止も徹底させようとしたため。</li> <li>銀・銅・海産物などが輸出され、生糸・絹織物などが輸入された。</li> <li>絹織物業の発達、海外への銀の流出。</li> <li>4方面以外に海外との窓口ができ、従来の関係以外の外国との新たな関係ができたこと。</li> <li>アメリカ・イギリス・ロシアなどが新たに日本に來航できるようになった。</li> </ul>

展 開 1	・アメリカなどの国々とはどのような関係をもったのか？	T：発問する P：答える	② ③ ④	・1854年の日米和親条約によって、下田・箱館が開港された。燃料・食料の供給、難破船と乗組員の救助などを規定。(英・露・蘭とも同様の条約を結んだ)
	・開国によって、貿易は、どのように変化したのか？	T：発問する P：答える		・1858年の日米修好通商条約によって、貿易が始まった。(英・露・蘭・仏とも同様の条約を結んだ)
	・開国によって、経済は、どのように変化したのか？	T：発問する P：答える		・日米修好通商条約によって、横浜などが開港された。生糸・茶などが輸出され、毛織物・綿織物・艦船などが輸入された。
展 開 2	・経済における混乱がどのような影響をもたらしたか？	T：発問する P：答える	⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	・生糸の生産の拡大、国内物資の品薄による物価の高騰、安価な綿織物の大量輸入による国内の綿作・綿織物業の衰退、金銀比価の相違による大量の金の海外流出。また、日本は、世界の資本主義市場に巻き込まれることになった。
	・「鎖国」のもとでの政治は、どのような状況であったか？	T：発問する P：答える		・攘夷運動が起こり、幕府が倒れる一因となっていた。
	・対外政策は、どのように変わってきたか？	T：発問する P：答える		・幕府が創出した幕藩体制のもと、武家諸法度などによって、大名を統制していた。また、朝廷や公家に対しては、禁中並びに公家諸法度などによって、統制していた。
展 開 3	・これら国内・対外政策は、どのような影響をもたらしたか？	T：発問する P：答える	⑩ ⑪	・日本に来航して貿易ができるのはオランダと中国のみとした。
	・日本が開国するきっかけとなったでき事は何か？	T：発問する P：答える		・外国の干渉を受けることなく、幕府が強大な権力のもとで安定した政治を展開することができた。
	・ペリーがもたらした米大統領フィルモアの国書には、どのようなことが書かれていたか？	T：発問する P：答える		・1853年の浦賀沖へのペリーの来航。
終 結	・ペリーはなぜ日本に来航したのか？	T：発問する P：答える	⑩ ⑪	・カリフォルニアから中国に行く船が多い。日本沿岸で捕鯨を行う船が多い。
	・ペリーの来航以降、幕府はどのように対応したのか？	T：発問する P：答える		・中国との貿易船や捕鯨船の寄港地を確保し、日本との通商を行えるようにするために来航。
	・開国によって、政治は、どのように変化したのか？	T：発問する P：答える		・朝廷と連携をとったり、諸大名から意見を聞いた。
展 開 3	・開国によって、対外政策上どのような問題が生じたか？	T：発問する P：答える	⑩ ⑪	・老中の阿部正弘(福山藩主)はペリー来航を朝廷に報告し、開国の是非を大名に諮問した。
	・海外からの影響としては、どのようなものがあったか？	T：発問する P：答える		・老中の堀田正睦は諸大名に通商の可否を諮問、朝廷から条約の勅許を得ようとした。
	・開国によって文化にはどのような変化が生じたのか？	T：発問する P：答える		・幕府政治に動揺が生じ、やがて幕府が倒れる。明治新政府が成立し、欧米にならって近代化を進める。
展 開 3	・このことから、どのような影響がみられたか？	T：発問する P：答える	⑩ ⑪	・不平等条約。開国時の条約の中の片務的最恵国待遇、関税自主権の欠如・領事裁判権の承認。明治時代に条約改正交渉を経て、不平等条約が改正される。
	・開国によって、社会にはどのような変化が生じたのか？	T：発問する P：答える		・学問は、幕府が朱子学を奨励。浮世草子などの文学作品や浮世絵などの絵画で日本独特のものが発達。
	・このことから、どのような影響がみられたか？	T：発問する P：答える		・中国からの影響では文人画など。オランダからの影響では、蘭学・西洋画などがあつた。
展 開 3	・開国によって、政治や経済・文化が変わったのか？	T：発問する P：答える	⑩ ⑪	・特に明治以降、欧米の思想・文物が流入。文明開化といわれる風潮が発生。都市では洋服の着用やレンガ造りの建物・ガス灯などが普及した。
	・このことから、どのような影響がみられたか？	T：発問する P：答える		・明治期に自由・平等・権利などの考え方が流入し、新聞・雑誌などでそれらの考え方が広まった。
	・このことから、どのような影響がみられたか？	T：発問する P：答える		・明治期に国会開設などを要求した自由民権運動が起こった。
展 開 3	・開国によって、政治や経済・文化が変わったのか？	T：発問する P：答える	⑩ ⑪	・政治では、幕藩体制が揺らぎ、幕府が減じ、明治新政府が成立する。経済では、物価の高騰・金の海外流出などの混乱が生じた。文化では、後の文明開化がもたらされた。さらに、明治以降、日本が欧米諸国を模範として近代化を推進していくことにつながっていく。開国が政治・経済・文化に影響を及ぼすとともに、相互間での影響もみられる。今後もあるような日本史の内容について、さまざまな角度からとらえていく。

注) 教科書は、石井進ほか『改訂版 詳説日本史B』山川出版社を使用している。

## 7. 教授資料

- ①「日米和親条約と日米修好通商条約」…『新詳日本史』浜島書店pp.187
- ②「貿易の開始D幕末の主要貿易品の割合」…前掲①pp.188
- ③「貿易の開始F金貨の流出」…前掲①pp.188
- ④「貿易の開始G幕末の物価騰貴」…前掲①pp.188
- ⑤「ペリー艦隊の来航」…前掲①pp.186
- ⑥「フィルモアの国書」…『資料日本史』とうほうpp.278
- ⑦「ペリーの横浜上陸」…『ペリー来航と横浜』横浜開港資料館pp.1
- ⑧「安政の改革B開国に対する諸大名の意見」…前掲①pp.187
- ⑨「幕府と朝廷の関係」…前掲①pp.187
- ⑩「京橋と銀座通り」…前掲①pp.201
- ⑪「学問のすすめ」…前掲⑥pp.309

## 5. おわりに

今後はさらに、新学習指導要領をふまえ、高等学校日本史Bの特質をより明らかにしつつ、時代の特徴や外国との関わりを考えながらさまざまな単元において授業開発を行っていきたい。

### 引用（参考）文献

- 1) 石井寛治『大系日本の歴史12 開国と維新』小学館, 1989年
- 2) 石井孝『日本開国史』吉川弘文館, 1972年
- 3) 井上勲 編『日本の時代史20 開国と幕末の動乱』吉川弘文館, 2004年
- 4) 井上勝生『日本の歴史18 開国と幕末変革』講談社, 2002年
- 5) 井上光貞ほか編『日本歴史大系12 開国と幕末政治』山川出版社, 1996年
- 6) 社会認識教育学会 編『社会科教育のニュー・パースペクティブ—変革と提案—』明治図書, 2003年
- 7) 社会認識教育学会 編『社会認識教育の構造改革—ニュー・パースペクティブにもとづく授業開発—変革と提案—』明治図書, 2006年
- 8) 棚橋健治『社会科の授業診断～よい授業に潜む危うさ研究』明治図書, 2007年

- 9) 平川新『日本の歴史12 開国への道』小学館, 2008年
- 11) 松本健一『日本の近代1 開国・維新』中央公論社, 1998年
- 12) 三谷博『日本歴史叢書 ペリー来航』吉川弘文館, 2003年
- 13) 山口啓二『鎖国と開国』岩波現代文庫, 2006年
- 14) 横浜開港資料館 編『ペリー来航と横浜』横浜開港資料館, 2004年

### [注]

- 1) 詳しくは、森才三・小原友行・池野範男・棚橋健治ほか「高等学校社会系教科における導入学習に関する授業開発研究（Ⅱ）—「世界史A」導入単元の場合—」広島大学学部・附属共同研究機構、『広島大学学部・附属学校共同研究紀要』第36号, 2008年, pp.339を参照願う。
- 2) 和田文雄・小原友行・池野範男・棚橋健治ほか「高等学校社会系教科における導入学習に関する授業開発研究（Ⅰ）—「地理B「日本の大地形」学習指導案—」広島大学学部・附属共同研究機構、『広島大学学部・附属学校共同研究紀要』第35号, 2007年, pp.443～447。
- 3) 森才三・小原友行・池野範男・棚橋健治ほか「高等学校社会系教科における導入学習に関する授業開発研究（Ⅱ）—「世界史A」導入単元の場合—」広島大学学部・附属共同研究機構、『広島大学学部・附属学校共同研究紀要』第36号, 2008年, pp.339～348。
- 4) 下前弘司・小原友行・池野範男・棚橋健治ほか「高等学校社会系教科における導入学習に関する授業開発研究（Ⅲ）—「現代社会」導入単元の場合—」広島大学学部・附属共同研究機構、『広島大学学部・附属学校共同研究紀要』第37号, 2009年, pp.173～181。
- 5) 以下の括弧部は、文部科学省『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』の抜粋である。

### [付記]

本研究の4年次は山名敏弘が担当し、本稿を執筆した。